

平成27年度 給食施設状況調査および栄養管理状況報告書の集計結果

1 目 的

健康増進法第21条に基づき、給食施設は栄養管理を適切に行い、給食を通じて利用者の健康増進を推進する観点から、特定給食施設の設置者に栄養管理基準の遵守が義務付けられている。

県では、特定給食施設に対し適切な栄養管理について支援するため、福井県健康増進法施行細則第4条に基づき、栄養管理状況報告書の提出を求めている。また、その他の給食施設には、給食施設状況調査を行っている。

平成27年度に提出があった栄養管理状況報告書および給食施設状況調査票をとりまとめ、施設状況および栄養管理状況について把握したので、報告する。

2 調査時期

平成27年6月

3 集計項目

特定給食施設：栄養管理状況報告書（義務）

※施設区分によって報告書の様式が異なる。詳細はホームページを参照。

その他の給食施設：給食施設状況調査票（任意）

4 提出状況

県内給食施設（H27） ※施設区分は別紙1のとおり

（1）特定給食施設：継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を供給する施設

施設区分	保健所						
	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計
学校	71	30	19	48	29	20	217
病院	20	5	2	12	6	4	49
介護老人保健施設	8	4	4	7	4	1	28
老人福祉施設	21	8	4	9	6	3	51
児童福祉施設	40	21	6	32	16	9	124
社会福祉施設	3	1	2	5	1	0	12
矯正施設							0
寄宿舍				1	1		2
事業所				1	4		5
その他	12	4		1		1	18
計	175	73	37	116	67	38	506

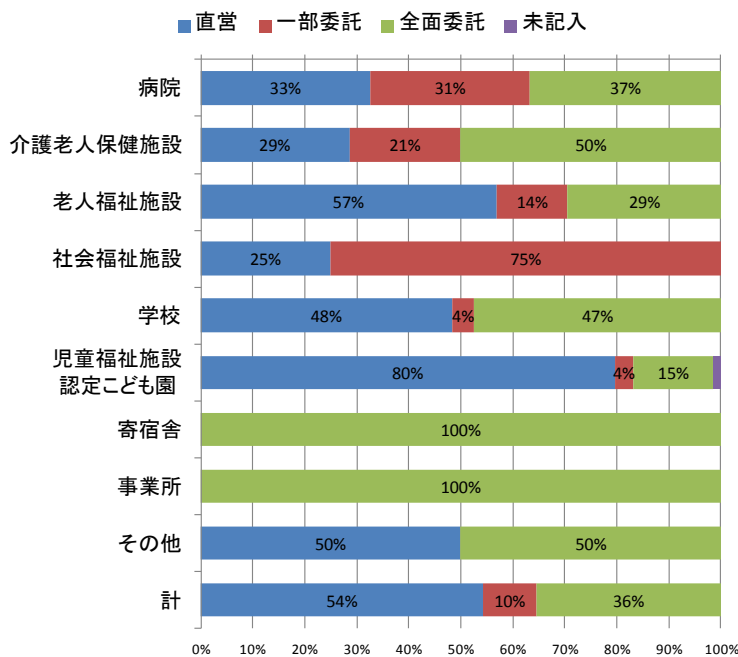
(2) その他の給食施設：継続的に1回20食以上または1日50食以上の食事を供給する施設

施設区分	保健所							計
	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭		
学校	27	7	16	17	8	14	89	
病院	7	2	7	7		2	25	
介護老人保健施設	4	3	1	2	1	2	13	
老人福祉施設	66	25	2	33	15	14	155	
児童福祉施設	38	12	19	31	16	16	132	
社会福祉施設	9	3	4	7	1	7	31	
矯正施設							0	
寄宿舍	3			1	16	14	34	
事業所	1	1			2		4	
その他	48	9		12	2		71	
計	203	62	49	110	61	69	554	

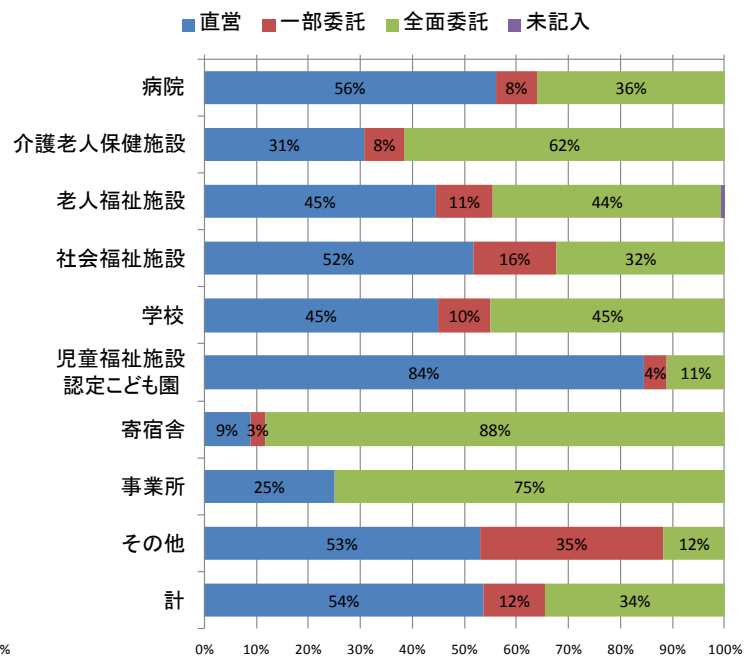
5 調査結果

(1) 給食の運営状況 (H27)

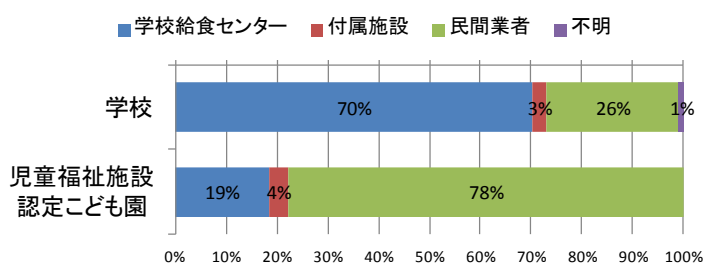
給食の運営状況(特定給食施設)



給食の運営状況(その他の給食施設)

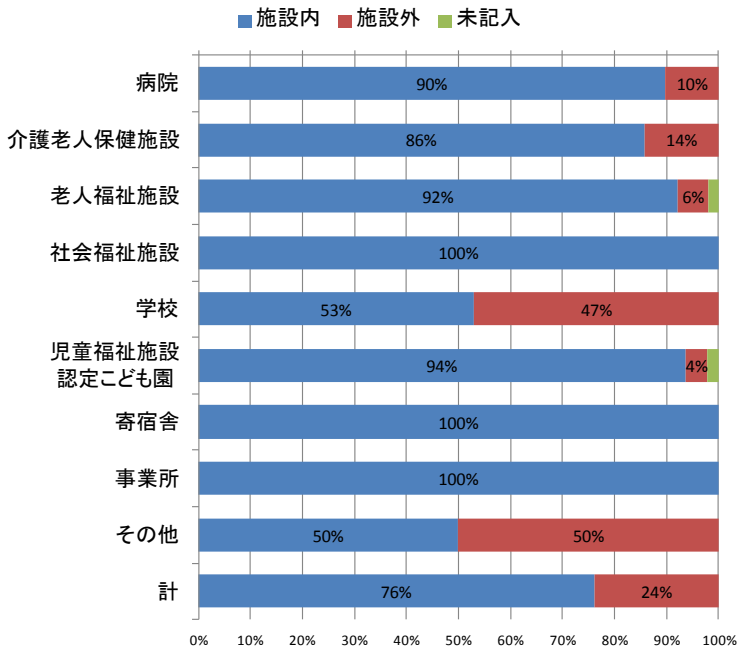


委託先

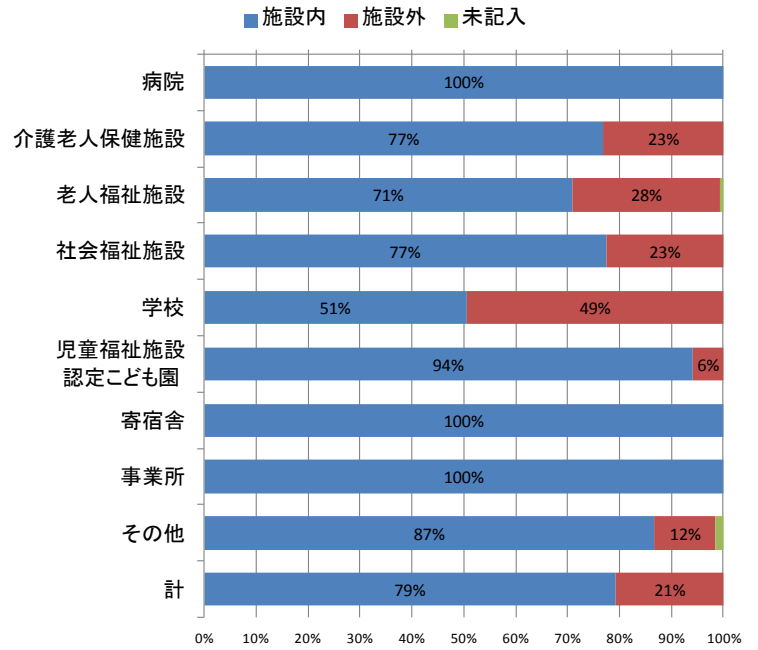


(2) 調理場所 (H27)

調理場所(特定給食施設)

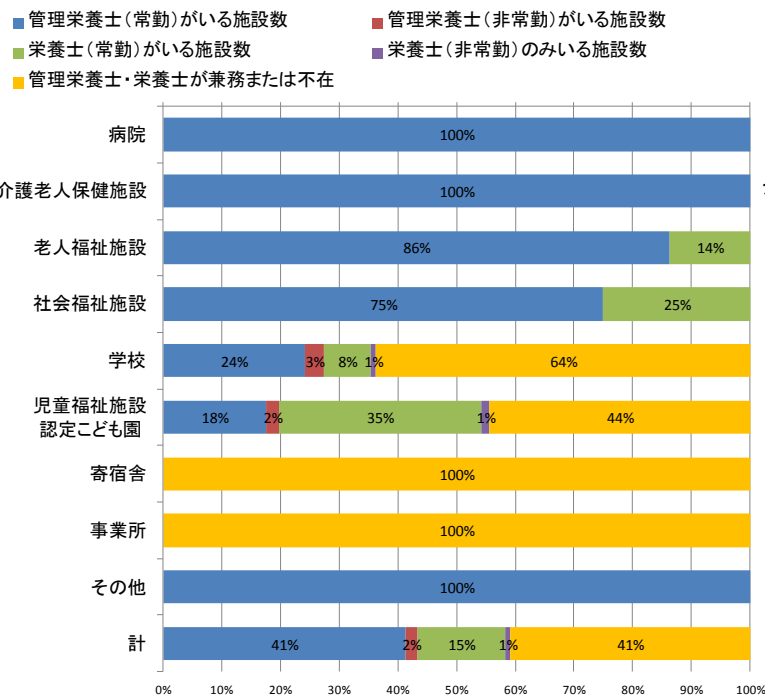


調理場所(その他の給食施設)

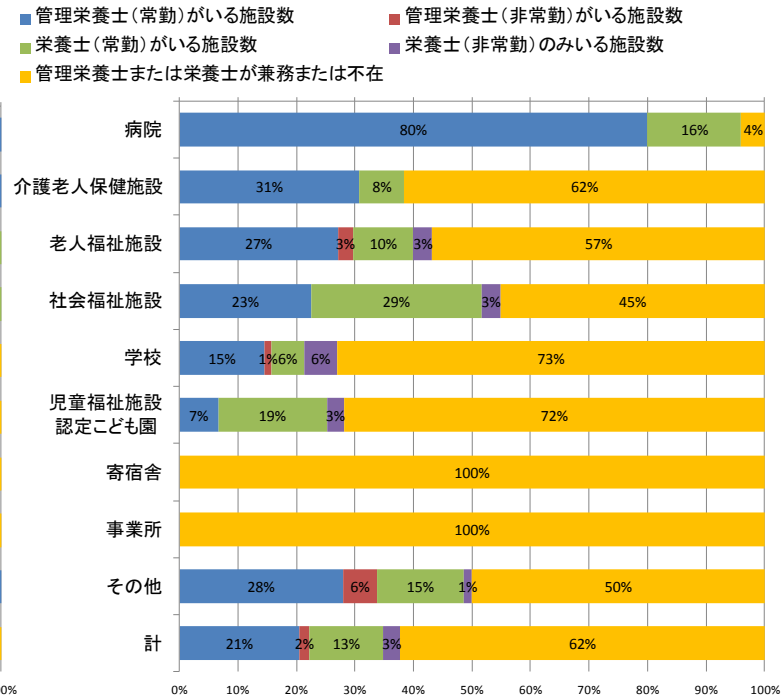


(3) 管理栄養士・栄養士の配置状況 (H27)

管理栄養士・栄養士配置状況(特定給食施設)



管理栄養士・栄養士配置状況(その他の給食施設)

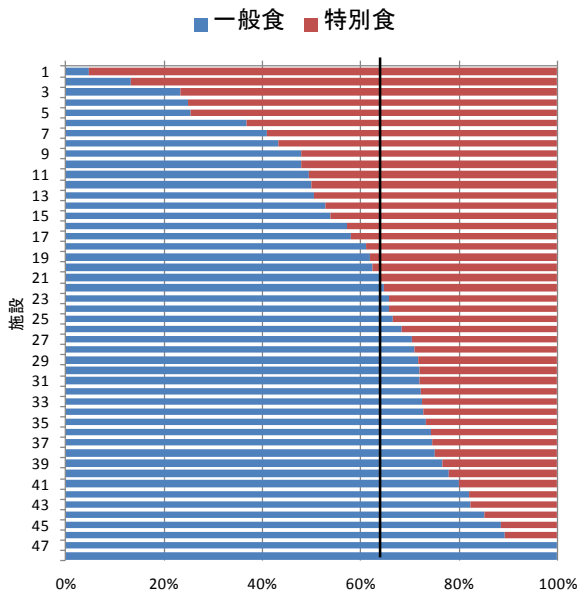


個別の栄養管理が重視される者を対象とした施設(病院や介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設)には管理栄養士・栄養士の配置率は高いが、健康増進を目的とした施設(学校、児童福祉施設、寄宿舎、事業所)には兼務または不在の施設が多い。

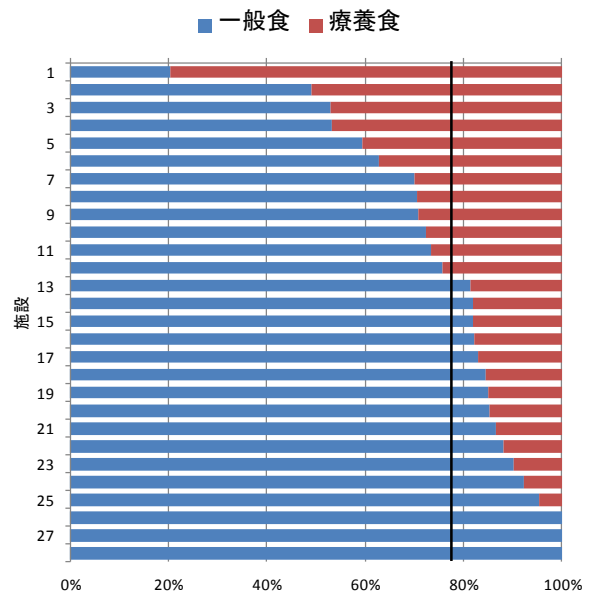
(4) 特別食（療養食）の提供割合（H27）

施設区分	提供割合	
	最大	平均
病院	97.0 %	37.1 %
介護老人保健施設	79.7 %	22.6 %
老人福祉施設	32.9 %	10.9 %
社会福祉施設	27.8 %	6.4%

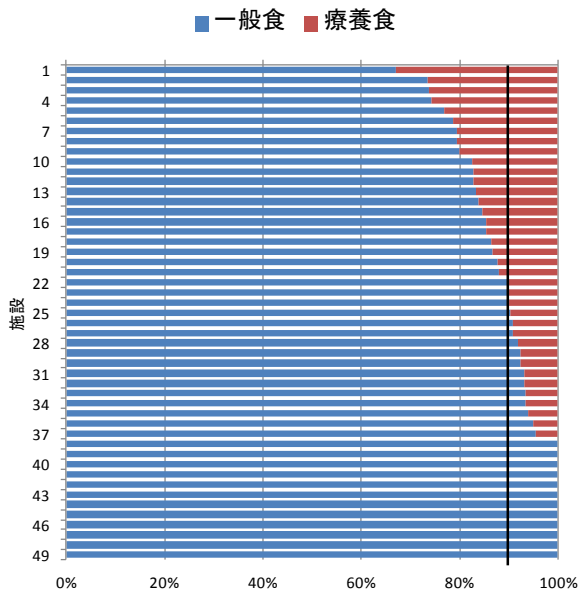
一般食と特別食の提供割合
(病院)



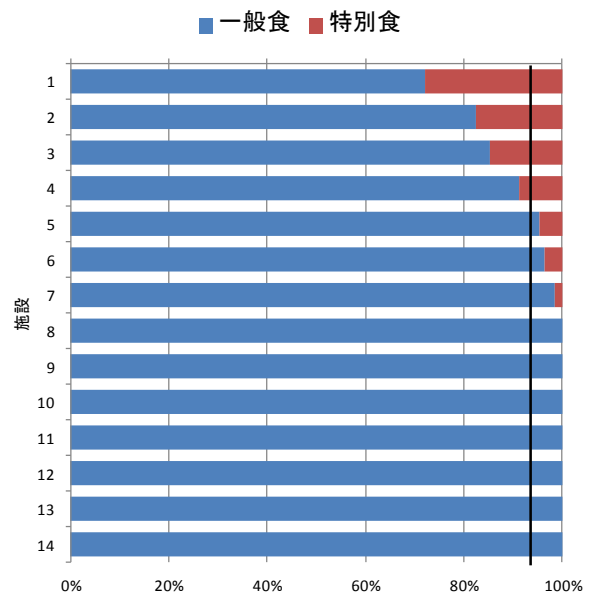
一般食と療養食の提供割合
(介護老人保健施設)



一般食と療養食の提供割合
(老人福祉施設)

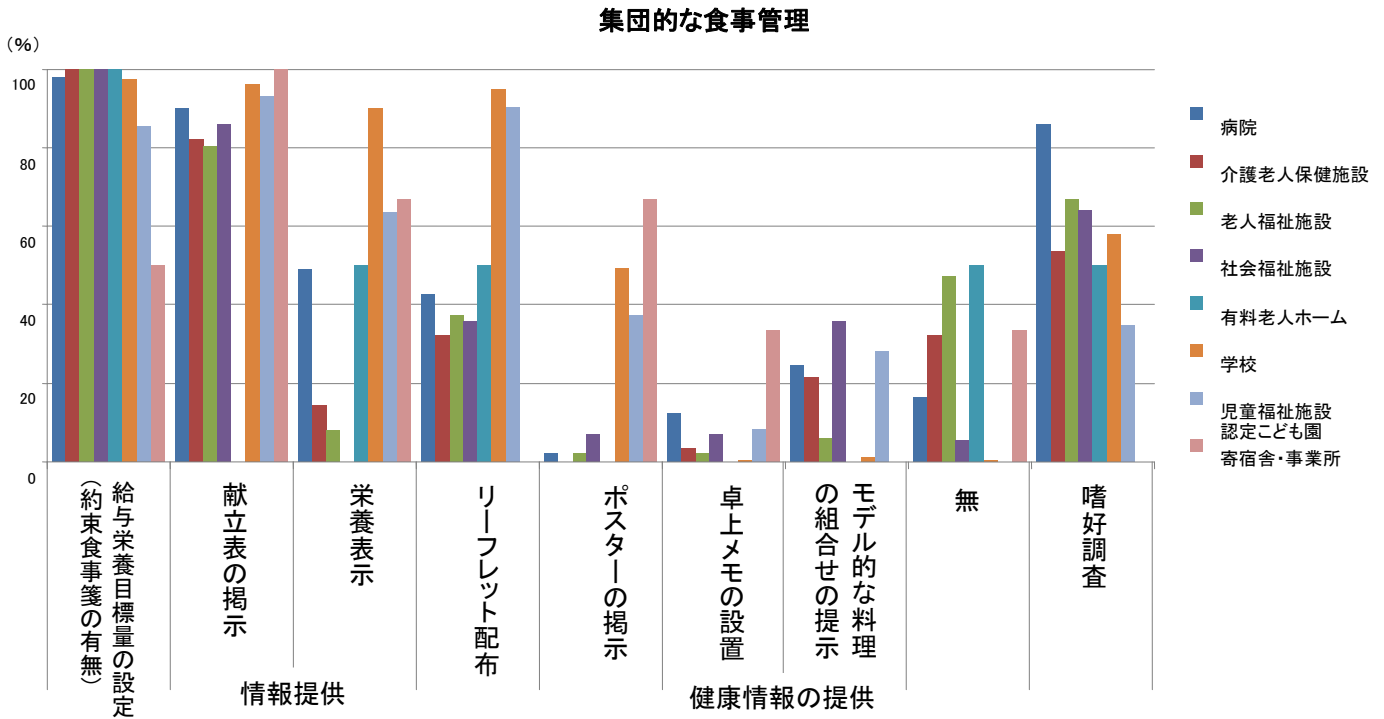


一般食と療養食の提供割合
(社会福祉施設)



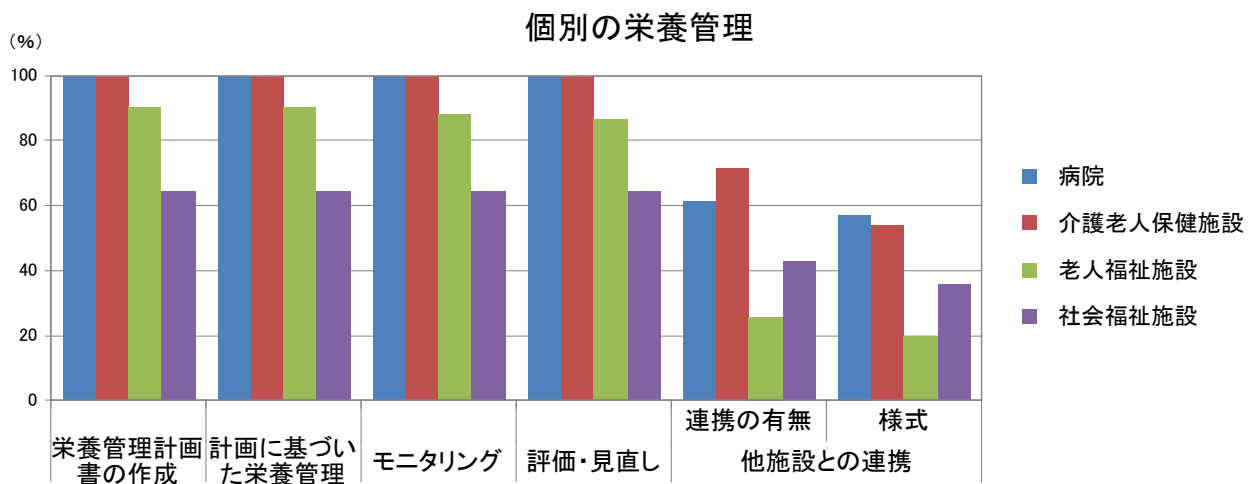
入院患者（入所者）に対し特別食（療養食）の疾病をもつ者の割合に影響されるが、病院や介護老人福祉施設では提供割合の差が大きかった。老人福祉施設や社会福祉施設が療養食を提供する割合は1割程度であった。

(5) 集団的な食事管理（特定給食施設）（H26）



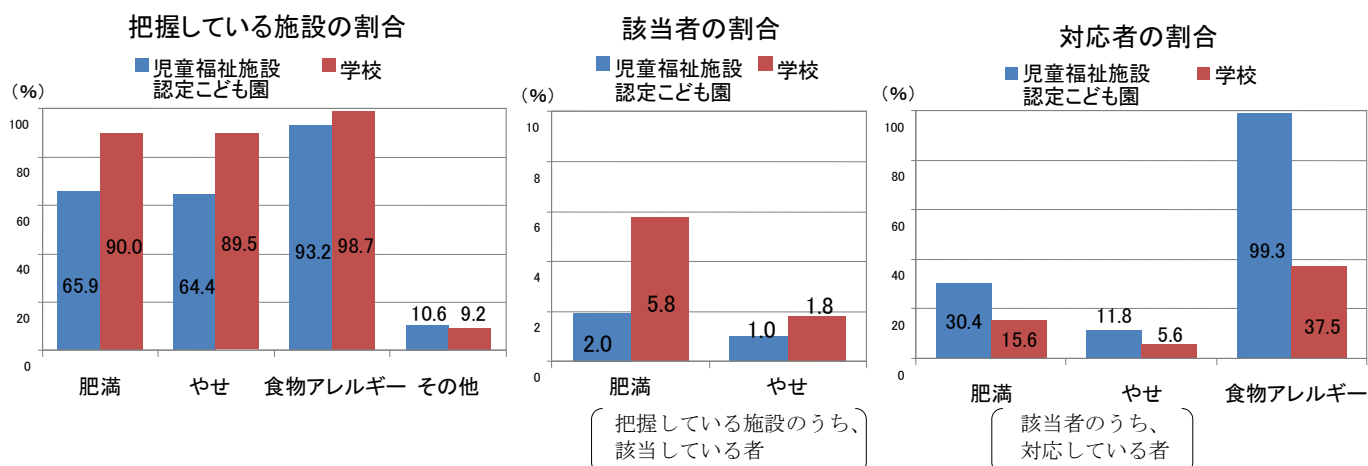
給与栄養目標量の設定は寄宿舍・事業所で実施割合が低かった。献立の提示は有料老人ホームを除き、高い割合で実施されている。栄養表示やリーフレットの配布は健康増進を目的とした施設（学校、児童福祉施設、寄宿舍、事業所）で高い割合で実施されている。嗜好調査は8割以上の病院で実施され、その他の施設でも5割前後の割合で実施されている。

(6) 個別の栄養管理（特定給食施設）（H26）



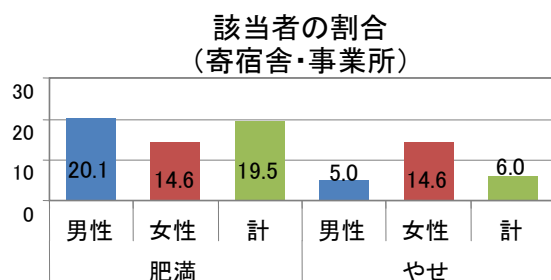
個別の栄養管理はほとんどの施設で実施されているが、社会福祉施設でやや低い。他施設との連携は、病院・介護老人福祉施設で6割、老人福祉施設・社会福祉施設は2～4割に留まる。

個別の栄養管理



9割前後の学校で、肥満・やせ・食物アレルギーの把握をしている。児童福祉施設では、アレルギーを把握している施設の割合は高いが、肥満・やせを把握している施設は6割程度であった。

該当者に対し、給食や指導により対応している割合は、肥満・やせでは低く、食物アレルギーは学校で4割だった。



肥満者は2割程度であった。

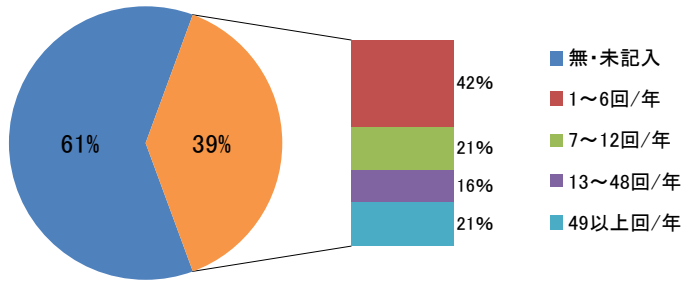
やせの者は男性で少ないが、女性で1割以上が該当した。



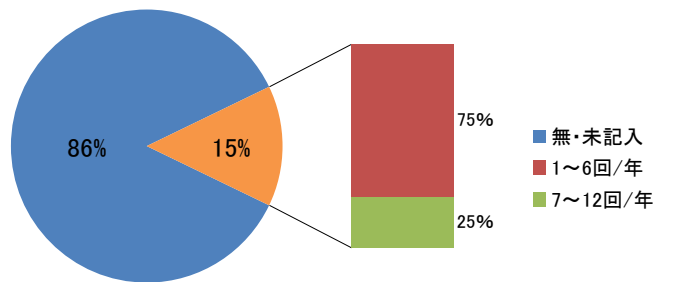
第3次元元気な福井の健康づくり応援計画では、「健康長寿日本一」に向けて、健康寿命のさらなる延伸を目指し、給食を通じた利用者の栄養管理および健康づくりを推進しています。学校、児童福祉施設、寄宿舍、事業所など健康増進を目的とする施設は、給食利用者の肥満・やせの状況を把握し、適切な栄養管理を進めましょう。

(7) 栄養教育 (H26)

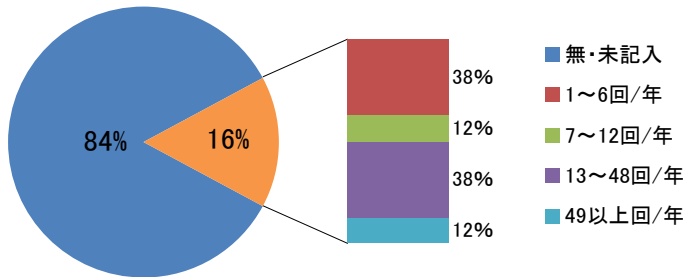
集団の栄養教育実施割合
(病院)



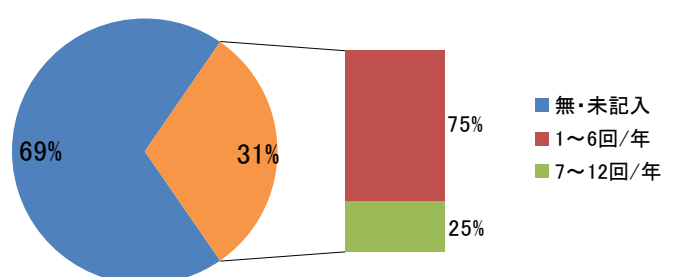
集団の栄養教育実施割合
(介護老人保健施設)



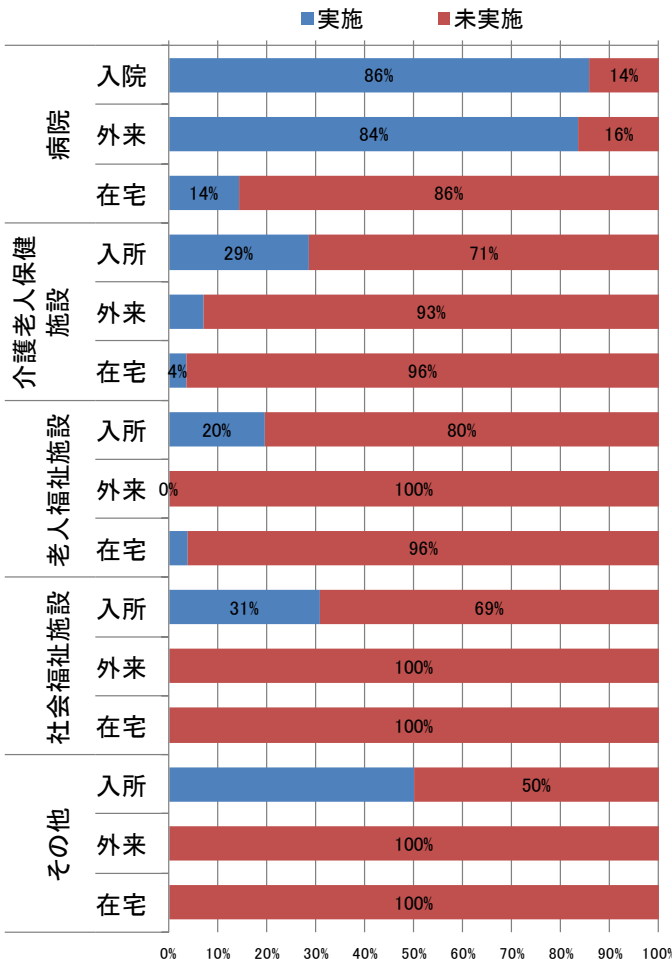
集団の栄養教育実施割合
(老人福祉施設)



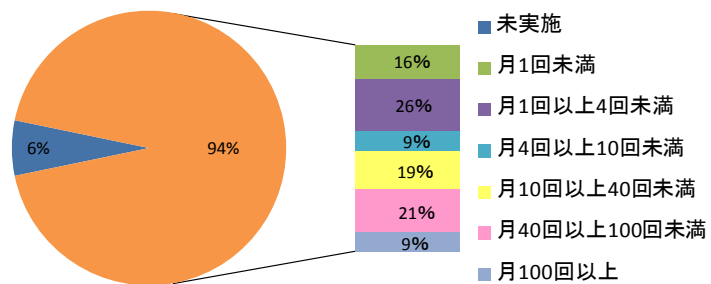
集団の栄養教育実施割合
(社会福祉施設)



個別の栄養教育実施施設割合

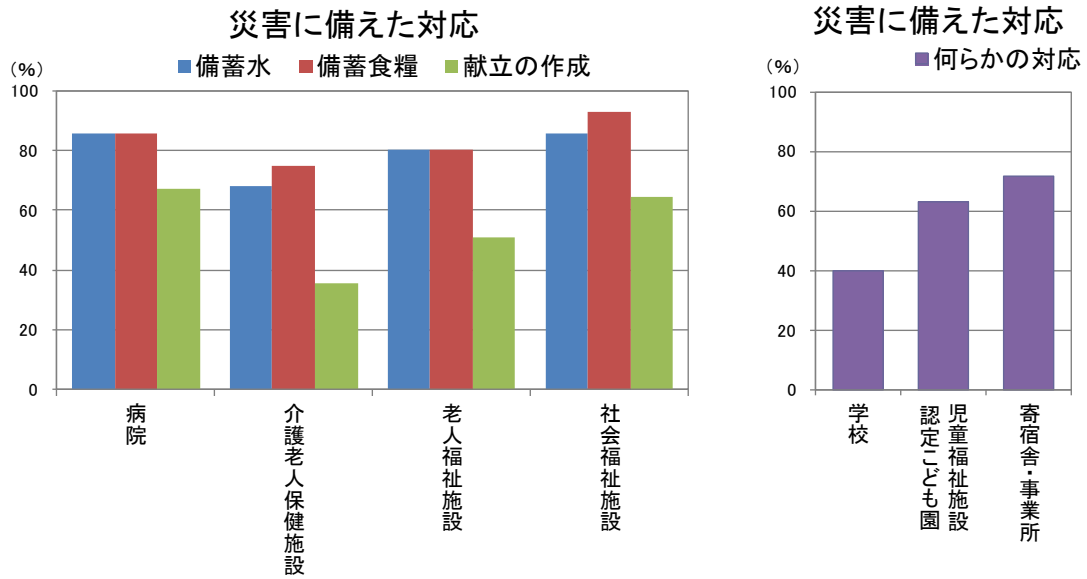


個別の栄養教育実施割合
(病院)



施設種別による差がみられる。
病院では、個別教育は8割以上実施しているが、
集団教育は4割程度だった。
在宅者に対する栄養教育の実施は低かった

(8) 災害に備えた対応 (H26)



災害に備えて対応をしている施設の割合は、社会福祉施設が最も高く、3食提供している施設では6割以上で備蓄水・備蓄食料を確保している。しかし、災害時の献立を作成している施設の割合は病院・社会福祉施設で6割、介護老人保健施設では低かった。

災害時に備えて何らかの対応をしている施設は、学校で4割、児童福祉施設・寄宿舍では6～7割であった。